

お茶の水女子大学 生物学科セミナー

# 専門外から神経の世界へ

## ～脂質研究から見つめる神経変性～



私は学部時代、脂質生化学の研究を行っていた小林哲幸研究室に所属し、これまで特にPNPLAファミリーと呼ばれる脂質代謝酵素群に興味を持って研究を進めてきました。遺伝子欠損マウスの解析を通じて、PNPLA8とPNPLA7というリン脂質分解酵素が肝臓で内因的にコリンを動員し、そのメチル基がメチオニン代謝に利用されることを見出しました。脂質生化学の分野で研究を進めるうちに、脳は脂肪組織の次に脂質が豊富に含まれる組織であるにも関わらず、脂質の専門家は神経を、神経の専門家は脂質を敬遠する人が多いという傾向を感じました（そうでなかったら申し訳ないです）。また、PNPLAによるリン脂質分解の破綻が神経変性を引き起こす可能性に気づき、神経系の世界に足を踏み入れることにしました。本セミナーでは、脂質代謝酵素PNPLA6/7欠損によって生じる神経変性マウスモデルの解析を中心に、これまでの研究内容を紹介させていただきます。

あわせて、分野融合的に研究を展開する中での苦労や工夫、キャリアの選択についても率直にお話ししたいと思います。研究の面白さや、専門性を越えた学際的な視点の大切さをお伝えできれば幸いです。

### 川口 舞

毛内研究室

特任リサーチフェロー



### 経歴

- 2014年- お茶の水女子大学
- 2018年 理学部生物学科 (小林哲幸研究室)
- 2018年- 東京大学大学院 医学系研究科
- 2020年 医科学専攻 (修士課程)
- 2020年- 東京大学大学院 医学系研究科
- 2024年 分子細胞生物学専攻 (博士課程)
- 2023年- 日本学術振興会
- 2025年 特別研究員 (DC2/PD)
- 2025年- お茶の水女子大学 ヒューマン
- 現在 ライフサイエンス研究所 (毛内弘研究室)

2025年 6月 24日 (火)

12:20 - 13:10



理学部 2号館 405室

共催：ヒューマンライフサイエンス研究所